

## ①学習課題（中学校2年生）



### 【国語】

#### <内容>

○教科書の「アイスプラネット」(P18～P27)を読んで、「ぐうちゃん」から手紙と写真を受け取った後、「僕」が返事を書くとしたら、どのような内容だと想像するかなど、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。(今週と来週の継続)

#### <取り組み方>

- ① 「アイスプラネット」を音読しよう。
- ② 「ぐうちゃん」に対する、「僕」、「母」、「父」、それぞれの思いがわかる会話や言動を探し、右横に線を引き、それぞれの思いについて簡単にまとめてみよう。
- ③ 「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いがどのように変わっていくか簡単にまとめ、家の人に伝えよう。
  - ・「ぐうちゃん」のほら話に対する「僕」の考えはどのように変わっていったか考えてみよう。
  - ・「僕」は、なぜ「勝手に行けばいいじゃないか。」(24 ページ 15 行目)と言ったのか考えてみよう。

※①～③に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

## 【社会】

### <内容>

室町時代の特色を、人々の暮らしぶりに着目してまとめてみよう。

### <取り組み方>

例) ①教科書 P72～73 のタイムトラベル⑤から室町時代の様子を調べてみよう。

②鎌倉時代の人々の生活の様子と比べて、どのような変化があるか調べ、変化の理由について考え、取組シートに書いてみよう。

### <学習のヒント>

①P72 の「次の場面を探してみよう！」の①～⑥の場面が絵中のア～カのどれにあたるか考えよう。

②P50～51 のタイムトラベル④と比較して、人々（武士や民衆）の暮らしぶりなどに変化があるところを探してみよう。

## 【数学】

### <内容>

教科書 P14 にある、底面の 1 辺の長さが  $x$  cm、高さが  $y$  cm の正四角柱について考えてみよう。

### <取り組み方>

① 教科書 P14 の Q の㉗～㉙の式は、それぞれどんな数量を表しているか考えよう。

② ㉗～㉙の式を、単項式と多項式に分けてみよう。

③ ㉗～㉙の式は、それぞれ何次式か考えよう。

④ ①で考えた数量の単位と、③で考えたことを比べて、気が付いたことを家に人に説明しよう。（「取組シート」に説明を書いてもよい。）

※考えたことを「取組シート」にまとめてみよう。

### <学習のヒント>

① 「底面」「側面」ということばを使って説明してみよう。

② 「単項式」、「多項式」については、P14 の 12～16 行目に書かれています。

③ 「1 次式」、「2 次式」、…については、P15 の 17～18 行目に書かれています。

④ まず、㉗～㉙の式を、①で考えた数量の単位で分類してみよう。それぞれの分類について、「次数」はどうなっているかな。

## 【理科】

### <内容>

#### ◆動物と植物の特徴について考えてみよう。

- ① 植物と動物を比較して、取組シートに「共通するところ」と「異なるところ」をそれぞれ考えて書き出してみよう。
- ② ①から、動物、植物にはそれぞれどのような特徴があるのかを考えてみよう。

### <取り組み方>

- ・身の回りにいる生物を観察したり、今まで小学校や中学校1年生で学習した生物の特徴を思い出したりしながら、考えてみましょう。

### <学習のヒント>

- ・可能であれば、インターネットや資料集、図鑑などを活用してもよいでしょう。
- ・調べていく中で、「動物なのか植物なのかわからない生物」に関しても、記録しておく、今後の学びにつながります。

## 【英語】

### <内容>

1年生の教科書 Program11 (P114～P118) Grandma Baba and Her Friends on a Sleigh の物語を読んで、次のことに挑戦してみましょう。

### <取り組み方>

- ① 物語を読む前に P114 の Basic Dialog を音読しましょう。そのあとに「オレンジ色の人（2行目、4行目）」になったつもりで、自分のことについて言ってみましょう。
- ② Grandma Baba and Her Friends on a Sleigh (P115～P118) は、ある雪の日のばばあちゃんと森の動物たちとの物語です。物語を音読してみましょう。
- ③ 各ページの下段にある Q（本文についての質問）を読み、「取組シート」にその答えを書きましょう。
- ④ この物語は4ページの場面で構成されています。それぞれの場面をおおまかにまとめて、「取組ノート」に書きましょう。（日本語、英語のどちらでもよいです。箇条書きでもよいです。）

### <学習のヒント>

- ① 読み方が分からない語は、飛ばしながら音読に挑戦しましょう。
- ② 過去のことを言うときに使う動詞は、Program10、英語のしくみ④ (P122～P123) で確認しながら学習に取り組みましょう。
- ③ 分からない単語は、各ページ下段の New Word、巻末資料9 (P143～P151) を参考にして、物語を読みましょう。